

2024 年度 第 1 回 学校運営協議会

1 日時 2024年（令和6年）5月24日（金） 14:00～15:50

2 場所 図書室

3 参加者

古山 貴規	経済産業省
根本 希望	P T A会長
羽田 知世	さくらホーム
平岩 千尋 （オンライン）	学校医
上野 リサ （オンライン）	穴吹情報デザイン専門学校
細田 暁 （オンライン）	横浜国立大学
友瀧佳司之	福山市立鞆の浦学園 校長

4 内容

- ① 授業参観
- ② 任命通知書交付
- ③ 2024 年度（令和 6 年度）の取組説明
- ④ 質疑・応答，意見交換

◆今年度の方針（校長）

- ・昨年度の学校運営協議会委員による学校関係者報告の結果より、鞆学のアウトプットを目的をもって行い、様々な繋がりを大切にしていき、さらに命輝く子ども達の姿を目指して取り組んでいく。
- ・研究主題～「探究」の世界にどっぷりつかる！つなげる！発信する！～今年度は、学びと体験がつながる授業を探究していく。
- ・鞆学では企業の方の力を借りて視野を広げていきたい。

◆4 月よりの気づき・交流・協議

- ・鞆学を使って前向きな意欲を育てて、福山・鞆を愛する意識を高めていく。
- ・学校と運営委員が、児童生徒の現状や課題の共有をしっかりと行っていくことで、子どもの学びをさらに深めていけるのではないかと。
- ・共生社会の実現のために、すべての人が分け隔てられることなく、合理的な

配慮が大切である。それぞれの場所や状況でできることは違ってくる。鞆の浦学園でできることを考えていくことが必要。

⑤ 職員との交流

- 学校運営協議会委員の方から職員に、開校当初からの鞆学について取り組んだことや思いを教えてもらう。
- どのようにアウトプットしていくか、児童生徒と先生でしっかり考えていってほしい。発信の機会や場所を作る協力を地域はしていきたい。
- 目的を明確にした学びをしてほしい。発信でも目的や相手によって方法や内容が変わってくる。
- 学校は地域とのつながりを大切にした学びを毎年取り組んでくれている。継続していってほしい。
- 先生達のやりがいの肯定的が高いのはなぜ？
→個人テーマを設定して自分のやってみたいことや挑戦したいことができている。職員と話し合うことがすぐにできる環境。

⑥ 事務連絡

- 次回の連絡

第2回学校運営協議会 10月25日（金）14:00～15:50